

現市政

# 働く女性、子どもに冷淡

## 子どもの医療費無料化

### 小西おさむさんが提案

#### 【建設費】

100億円⇒50億円  
違約金5～6億円を払って

も**45億円**の節約

#### 【維持管理コスト】

(年に建設費の5%)

100億円庁舎⇒5億円

50億円⇒2億5000万円

差額**2.5億円**の一部で

☆中学卒業までの窓口医療費完全無料化

**1億2000万円**

☆国基準並みの学童保育委託料で指導員増

**2000万円**

(市負担約700万円)

ほか、高すぎる幼稚園保育料の引き下げ、ひまわり館療育教室など障害児支援の拡充…など、直ちに解決できます。市民の目線で行政を行うかどうかです。

庁舎建設を見直せば、子育て支援の財源はすぐできます！



子どもの医療費無料化の願いが広がる中、現市長も「中学3年生まで無料化」を言い始めました。ところが…！

### 「償還払い」は変えず

保護者の願いは医療機関の窓口での無料化ですが、市は「償還払い」一辺倒。市民には窓口で自己負担を強い、あとで申請があったものだけ支払う—という姿勢です。

理由は「コンビニ受診や重複頻回受診などにつながり、医療費の増加で財政負担も大きくなる」(市議会答弁)。

病院での窓口負担はそのまま  
所得制限の撤廃も明言せず

「通院も中学3年まで無償化」というけれど…

### 所得制限で児童8割が対象外

現在は所得制限のため、無料化の対象者は住民税非課税など1部の世帯に限られ、全児童の8割が除外。「子育て支援」というなら、すべての子どもを対象とすべきです。

現市長は、宣伝物に「中学3年生まで無償化をめざす」と記載していますが、窓口無料化、所得制限撤廃などについては何ら触れていません。

近隣自治体の助成制度の充実には押されて形だけつくっても、これでは「福祉の心」は見えません。

### 子どもの医療費助成(通院、東近江圏内)

近江八幡	15歳まで、低所得者のみ無料
東近江	15歳まで全員無料。医療機関ごとに月500円自己負担
日野	同上
竜王	15歳まで全員無料

### 住みよい近江八幡市をつくる会

事務所 近江八幡市小船木町778-7

☎0748-31-0977 fax31-0978

HP : <http://aozorast.com/index.html>

2018年3月 政策と見解を紹介します。

もうこれ以上 ぼっとけない！

小西おさむ 大演説会

4月1日(日)午後2時、近江八幡市文化会館小ホール

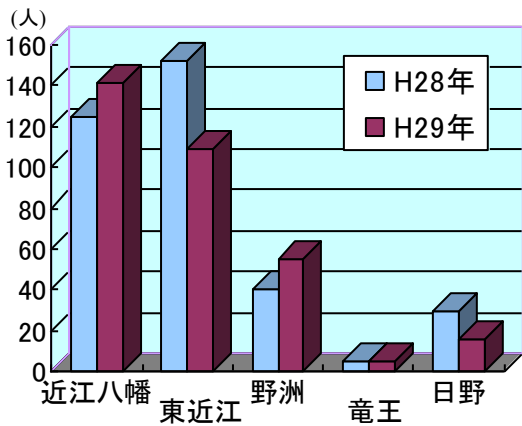


# 待機児童 近隣市町で最悪レベル！

「保育所増やして」急増44.5%⇒53.0%

10月現在。滋賀民報記事より

近隣市町の待機児童数



H25年

H29年

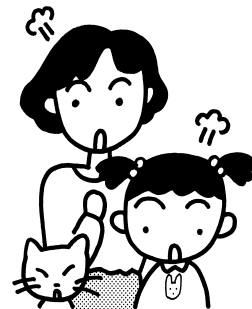
近江八幡市の保育園・幼稚園待機児童数は年々増加傾向で近隣自治体でも最悪レベルです。(左グラフ参照)

待機児童が多かった東近江市では平成29年度に認定こども園4ヶ所、幼稚園1ヶ所が開園し、30年度にも認定こども園2カ所開設の予定で、待機児童解消へ進んでいます。

## 今春も60人入れず

ところが近江八幡市は平成30年度に小規模保育所(定員20人未満)2ヶ所が開設されるだけ。今春からの入所希望者のうち60人に不承諾通知を出しています。31年度には認定こども園2ヶ所開設予定ですが、桐原東校区の場合、予定地確保もできていません。

市が実施した「子育てアンケート」(平成29年度)でも「保育所を増やしてほしい」53.0%で平成25年度の44.5%から大きく増加。「乳幼児の遊び場を増やして」(17.1%増)に次ぐ伸び率となっています。



## これが現市長の「子育て支援」感覚！

「遠くはイヤ、古い園はイヤ…、これを待機児童というのか？」

「待機児童の議論は出るが、定義がはっきりしていない。入りたくても入れない、これは完全なる待機児童だと思います。だけども、そんな古い園舎は嫌よ、そんな遠くは嫌よ、だから云々…。これを待機児童というかどうか。」

個人個人の希望を聞いてたら一人一人に保育所をつくらねばならない。八幡の場合はまだ人数(定員)に空きがある。それをいうと、そんな遠いところいやよ、とかね。だから、精査して、本当にどこでもいいから入りたいのに入れたいのは何人かを答弁させていただきたい。」(3月議会市長答弁から)

## 新設「こども園」に黄信号！土地確保が難航

市では、桐原コミュニティエリアの完成に続き、市立幼稚園を廃止し、2つの民営「こども園」にする計画です。桐原東校区の「こども園」は、運営事業者(京都市のK法人)まで決まっているのに、肝心の設置場所をめぐる地権者との交渉が進まず調整中です。「もう、別の場所を探すしかない状態」との嘆きまで聞こえてきます。

このままでは31年度(来年4月)の開所にも“黄信号”。間に合わなければ待機児童の解消はまた遠のき、この春からの入所予定を1年待たされたあげく、またオアズケの保護者は「いつになったら入れるの？」と不安を募らせます。

桐原東  
校区



▲桐原東小学校

未来担う子どもを泣かせないで